

# 市民公開講座

## 「腎臓病・糖尿病に負けない生き方」 ～腎臓病・糖尿病とともに生きる～

腎臓病の症状は悪くなくてもあまり自覚症状がなく見過ごされるケースが多くあります。

腎臓病の早期発見と治療を呼びかける専門医による講演会を開催します。

日常の注意点から治療方法まで、役立つ情報が満載です。

とき **9/20日**  
12:00開場 13:00開演  
[15:20終了予定]

ところ **朝日ホール**  
名古屋市中区栄1-3-3 朝日会館15階  
\*地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅下車  
7番出口を西へ徒歩3分  
\*JR「名古屋」駅下車徒歩15分



坪井 直毅先生



和田 隆志先生



丸山 彰一先生



武藤 智先生



小関 裕二先生



田中 文彦先生

●開会挨拶 名古屋大学 総長 松尾 清一先生

- プログラム
- 講演 1 「気にしていますか、あなたの腎臓」 (15分)  
名古屋大学 腎臓内科 講師 坪井 直毅先生
- 講演 2 「糖尿病からあなたの腎臓を守りましょう!」 (20分)  
金沢大学大学院 血液情報統御学 教授 和田 隆志先生
- 講演 3 「腎炎・ネフローゼと言われたら」 (20分)  
名古屋大学 腎臓内科 准教授 丸山 彰一先生
- ～ 休憩 (20分) ～
- 講演 4 「多発性<sup>のうほうじん</sup>嚢胞腎ってどんな病気?」 (20分)  
帝京大学 准教授 武藤 智先生
- 講演 5 「体験! あなたにもできる簡単エクササイズ」 (20分)  
増子記念病院 リハビリテーション科 課長 小関 裕二先生
- 講演 6 「これだけは知っておきたい! 腎臓にやさしい食事」 (20分)  
名古屋大学 栄養管理部 田中 文彦先生

※プログラム及び講師につきましては変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 応募方法

郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望人数(5名様まで)を明記の上、往復はがき、FAX、e-mailのいずれかで下記のあて先までお送りください。

※往復はがきで応募の方は、返信用はがきにもあなたの郵便番号、住所、氏名を記入。

### あて先

◎往復はがき 〒466-8550  
名古屋市昭和区鶴舞 65 番地  
名古屋大学医学部附属病院 腎臓内科  
「腎臓病・糖尿病セミナー」係

◎FAX 052-744-2209

◎e-mail  
jin-shogai@med.nagoya-u.ac.jp

※応募締め切り/9月11日(金)必着

応募多数の場合は抽選とします。

当選者の発表は招待状の発送をもってかえさせていただきます。

※お送りいただきました個人情報は、名古屋大学でとりまとめ、案内状の発送および個人を特定しないデータとして利用させていただきます。

300名様無料で招待!  
この機会にぜひご参加ください!

### お問い合わせ先

名古屋大学医学部附属病院 腎臓内科  
TEL(052)741-2111(代表)  
◎9:00~17:00(土・日・祝を除く)

◎主催 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)「難治性腎疾患に関する調査研究」班/日本医療研究開発機構研究費(難治性疾患等実用化研究事業<腎疾患実用化研究事業>)「糖尿病性腎症の進展予防にむけた病期分類-病理-バイオマーカーを統合した診断法の開発」班/日本慢性腎臓病対策協議会(J-CKDI)

◎後援 朝日新聞社広告局



[IgA腎症・急速進行性糸球体腎炎・ネフローゼ症候群・多発性嚢胞腎]症例数が少なく、原因が不明で、治療法が確立されていない疾患で、長期間生活に支障を及ぼすものについて、研究班を設置し、原因の究明・治療法の確立に取り組む、厚生労働省の事業。

HOME

前のページへ戻る

検索

メインメニュー

- ▶ 01-研究班のご紹介(2)
- ▶ 02-研究班班長のご挨拶(1)
- ▶ 03-研究協力者一覧(13)
- ▶ 04-活動予定・報告(2)
- ▶ 05-診断の治療指針(医療従事者向け)(4)
- ▶ 06-研究班の業績(1)
- ▶ 07-患者様向けQ&A(4)
- ▶ 08-リンク(1)
- ▶ 09-臨床研究(1)
- ▶ 10-研究成果報告(1)
- ▶ 11-お知らせ

最近のブログ記事

- ▶ 小児慢性腎臓病患者における移行医療についての提言(8/27)
- ▶ エビデンスに基づく診療ガイドライン2014 英語版(8/25)
- ▶ ◆研究管理推進委員会(8/25)

【病気の解説】

○ IgA腎症

IgA nephropathy

○ 急速進行性糸球体腎炎

Rapidly progressive glomerulonephritis; RPGN

○ ネフローゼ症候群

Nephrotic syndrome

○ 多発性嚢胞腎

Polycystic kidney disease

症例数が少なく、原因が不明で、治療法が確立されていない疾患で、長期間生活に支障を及ぼすものについて、研究班を設置し、原因の究明・治療法の確立に取り組む、厚生労働省の事業。

→ 詳細を見る



難治性腎疾患に関する調査研究班 班長 丸山 幹一

国民の皆さんや腎臓病と闘っておられる患者さんに貢献できるよう、活動しています。

→ 研究班班長のご挨拶

月別アーカイブ

- ▶ 2015年8月(3)
- ▶ 2014年12月(12)
- ▶ 2013年7月(1)
- ▶ 2013年2月(2)
- ▶ 2012年11月(1)
- ▶ 2012年9月(1)
- ▶ 2012年3月(6)
- ▶ 2012年2月(4)
- ▶ 2012年1月(1)

小児慢性腎臓病患者における 移行医療についての提言

■小児慢性腎臓病患者における移行医療についての提言  
— 思春期・若年成人に適切な医療を提供するために —  
→こちらをご覧ください(PDFファイル)

2015年8月27日

エビデンスに基づく診療ガイドライン2014 英語版

■IgA 腎症

Evidence-Based Clinical Practice Guidelines for IgA Nephropathy 2014

→こちらをご覧ください(PDFファイル)

■急速進行性糸球体腎炎

Evidence-Based Clinical Practice Guidelines for Rapidly Progressive Glomerulonephritis 2014

→こちらをご覧ください(PDFファイル)



患者様向けQ&A



診断の治療指針(医療従事者向け)